

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第19回 企画・広報分科会
2020年度活動報告・2021年度活動計画(案)**

2021年5月20日
企画・広報分科会

企画・広報分科会の概要

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

香山 健太郎（NICTユニバーサルコミュニケーション研究所総合企画室 室長）
（九津見運営・研究部会長のご指名：2021年4月1日）

（サブリーダー）

村田 稔樹（沖電気工業 経営基盤本部 研究開発センター AI技術研究開発部
スペシャリスト）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・協議会活動のメリットを最大限に発揮する新たな活動の創造
- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

1. 創造系活動

- ① 感染症の拡大や緊急事態宣言のため、新たな活動を進めることはできなかった。
- ② WG活動費をWGに配分し、WG活動の支援を継続した。出展費用、実験費用などに活用された。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム「ポストコロナ時代の新たな情報通信技術 - 関西・けいはんなへの期待」をオンラインで開催した（2月16日）。オンラインのため、全国各地から参加いただいた。
- ② 総会を書面開催とし、例年おこなっていた講演会は中止とした。
- ③ 情報提供、人材育成に向けた取り組みであるセミナーについては、対面での開催も模索したが、感染症の拡大状況が読めず中止とした。
- ④ グローバルコミュニケーション2025検討WGについては、WG結成に至っていないが、グローバルコミュニケーション開発推進協議会に、本協議会として参加し、検討を行った。
- ⑤ けいはんなR&Dフェア2020はオンライン開催となったため、ブース展示はできなかったが、オンラインで実施された展示に「8K分身通信」を出展し、パネルなどで研究活動紹介を行った。
- ⑥ ウェブページ、動画サイトの充実により、協議会活動の一層の情報発信、普及・啓発活動につとめた。シンポジウムの講演を動画サイトから公開している。
- ⑦ 情報通信の研究開発にかかわる他団体との交流についても感染症拡大防止の観点から十分にはおこなえなかったが、引き続き情報交換は積極的におこなっている。

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動として、研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設の維持、整備をNICTで実施した。
- ② オープンラボ施設の広報を継続。現在4社が利用。

2020年度の活動報告②

	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月
企画・広報分科会		● 第18回 分科会 (4/20-5/1、書面開催)											
創造系活動					WG活動支援 新規活動の計画 オンラインでの活動検討								
促進系活動		総会企画準備 →							● けいはんなR&Dフェア2020に出展	→ シンポジウム開催準備			
					随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)								
整備系活動					けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用								
					JGNなどのネットワーク施設整備・運用								
【協議会関連】			● 第20回 運営・研究 部会 (6/8-6/19、 書面開催)		● 第19回 総会 (6/29-7/10、 書面開催)							● 協議会主催 シンポジウム (2/16、 オンライン開催)	
					事務局打合せを月1回程度開催								

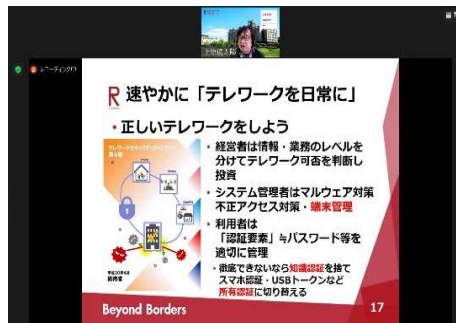
2020年度の活動報告③ けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム開催結果

○日時：2021年2月16日(火) 13:00～16:40
 ○ZOOMによるオンライン開催
 ○視聴者数：88名(アンケート回収数56)
 ○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
 ○概要：コロナ対応の情報通信技術とコロナ後の経済への期待についてお二人の方から基調講演をいただくとともに、協議会の分科会とオープンラボに入居する企業から、ポストコロナ時代に向けた研究開発の取り組みについてご講演いただきました。
 アンケート結果によると、例年に比べ、協議会会員以外の参加者が多く、質疑応答も活発で、今後もオンライン開催を希望する声が多くありました。今後のシンポジウム運営等にも、引き続きこのオンライン開催のメリットを生かしていきます。

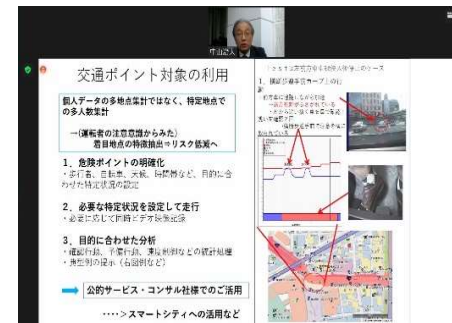
○プログラム「ポストコロナ時代の新たな情報通信技術 - 関西・けいはんなへの期待」
 開会挨拶 九津見 洋(当協議会理事、運営・研究部会長)
 基調講演「ポストコロナ時代のテレワークのあり方とセキュリティ」
 立命館大学情報理工学部 教授 上原哲太郎氏
 「自動車の運転者側からの事故防止と客観化・リモート化 -ポストコロナ時代の交通安全-」
 (株)ATR-Sensetech 取締役技術部長 中山治人氏
 「IoTネットワーク基盤分科会のアクティビティ」
 慶應義塾大学理工部 教授 山中直明氏
 基調講演「ポストコロナの世界経済と関西経済への期待」
 (株)日本総合研究所調査部マクロ経済研究センター 所長 石川智久氏
 「空中映像による非接触ユーザーインターフェースの感染防止対策への活用」
 (株)パリティ・イノベーションズ 代表取締役 前川聡氏



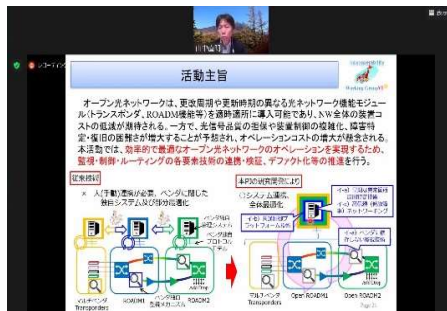
開会挨拶 九津見洋(協議会運営・研究部会長)



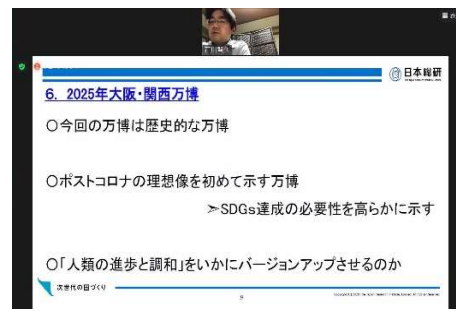
講演 上原哲太郎氏(立命館大学)



講演 中山治人氏(ATR-Sensetech)



講演 山中直明氏(慶応大学)



講演 石川智久氏(日本総合研究所)



講演 前川聡氏(パリティ・イノベーションズ)

2021年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① コロナ時代の新たな活動のあり方を検討し、オンラインでの活動方策も検討するなど新たな活動テーマの立ち上げを目指す。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査により、協議会への会員の要望などを確認し、活動テーマへの反映を推進する。
- ③ WG活動費によるWG活動の支援を継続。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2021の開催（11月～12月予定）。
- ② シンポジウムなどの開催による情報提供、人材育成の実施。
- ③ けいはんなR&Dフェア2021において、研究活動紹介、広報活動（11月ころ）。
- ④ ウェブサイト、動画サイトを活用した協議会活動の一層の情報発信や広報・啓発活動の強化。
- ⑤ 情報通信の研究開発にかかわる他団体（グローバルコミュニケーション開発推進協議会、次世代安心・安全ICTフォーラム、AC・Net、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム等）と共催、協賛イベントの開催や情報交換、交流、連携促進。引き続き、関西ICT研究交流連絡会を通じた連携。
- ⑥ 地域の研究開発活動との連携を強化する。

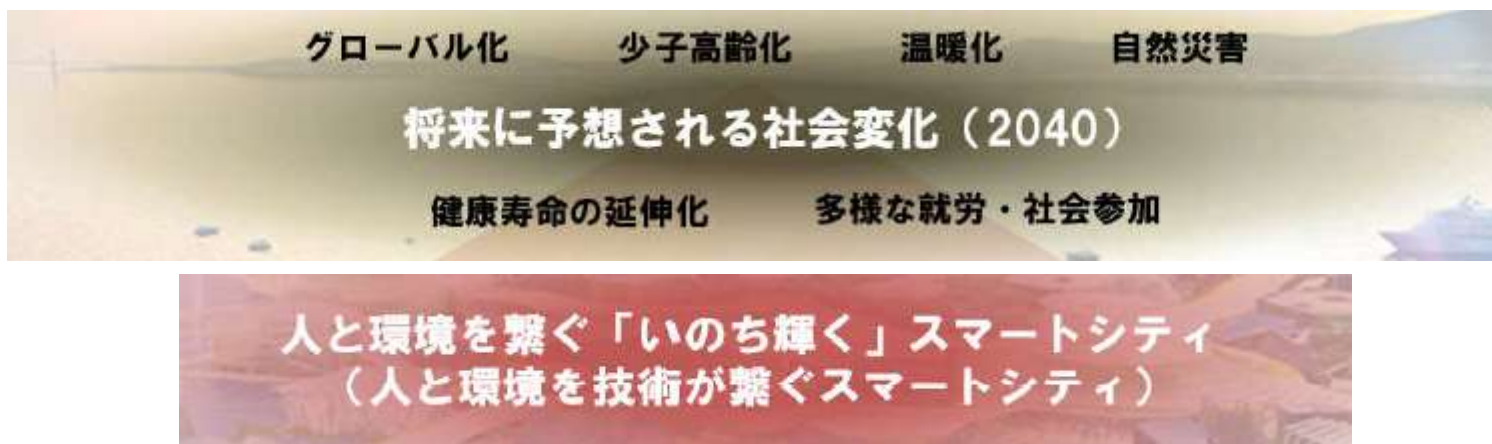
3. 整備系活動

- ① 研究開発テストベッドネットワークJGNなどのネットワーク施設を含むオープンラボ施設の維持、運用と充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の広報の実施。

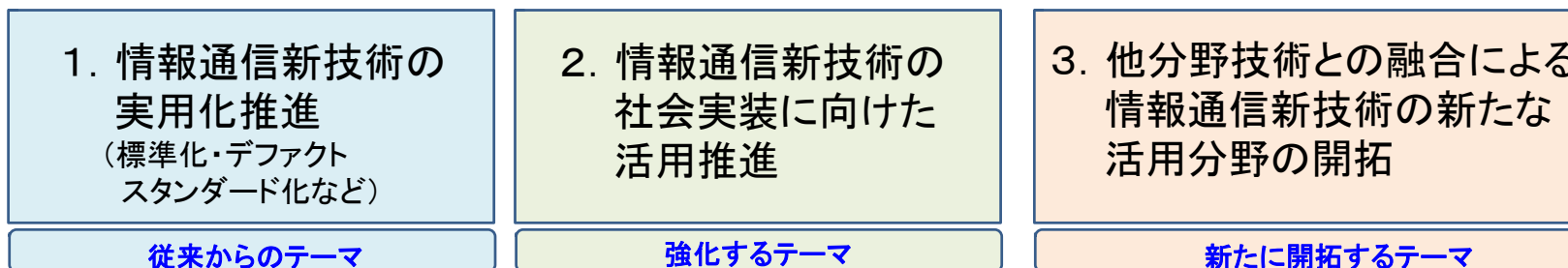
2021年度の活動計画②

昨年度に引き続き、長期的な社会課題の解決を目指したテーマ設定を検討する。

目指す姿



取組みの方向



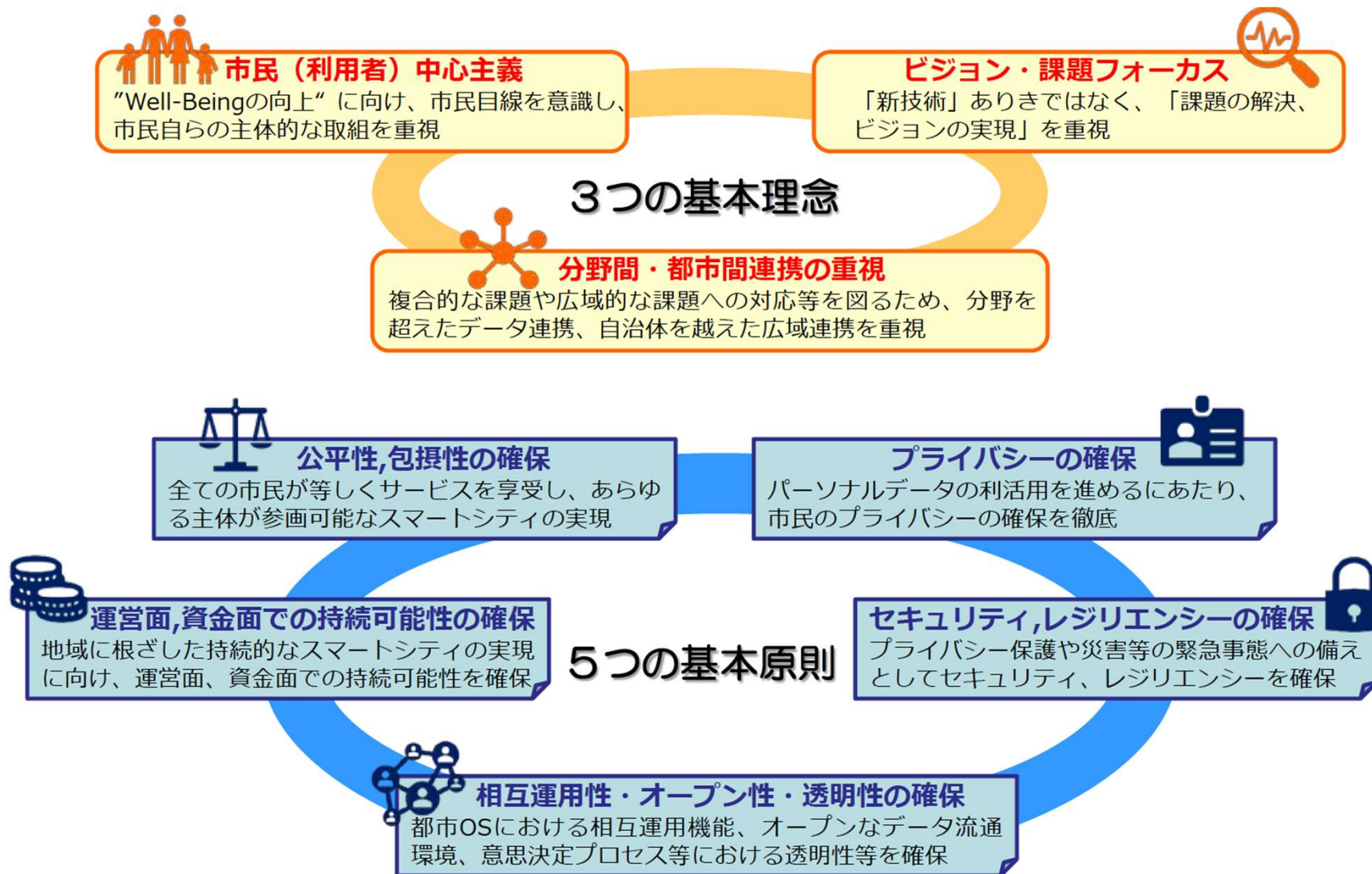
基盤技術





スマートシティって？

- ①次ページにある基本理念、基本原則に基づき
 - ②新技術や官民各種のデータを活用した市民一人一人に寄り添ったサービスの提供や、各種分野におけるマネジメントの高度化等により
 - ③都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける
 - ④持続可能な都市や地域
- ✓ ”都市“での取組ばかりではなく、里山里海などを有する地域における豊かな自然と共生した地域づくり(スマートローカル)もスマートシティの仲間です。



2021年度の活動計画⑤

	2021年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第19回 分科会									● 第20回 分科会 (3~4月)			
創造系活動				新たな活動に向けた検討									
				WG活動支援									
				ニーズ調査、テーマ検討、体制整備									
促進系活動	→ 総会準備						→ シンポジウム 開催準備						
				随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)									
整備系活動				けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用									
				JGNなどのネットワーク施設整備・運用									
【協議会関連】	● 第21回 運営・研究 部会		● 第20回 総会				● けいはんな R&Dフェア2021	● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)			● 第22回 運営・研究 部会 (4~5月)		
				事務局打合せを月1回程度開催									

ただし、感染症拡大予防のために、事業の中止や延期、オンライン開催などについて随時状況に応じて検討する。